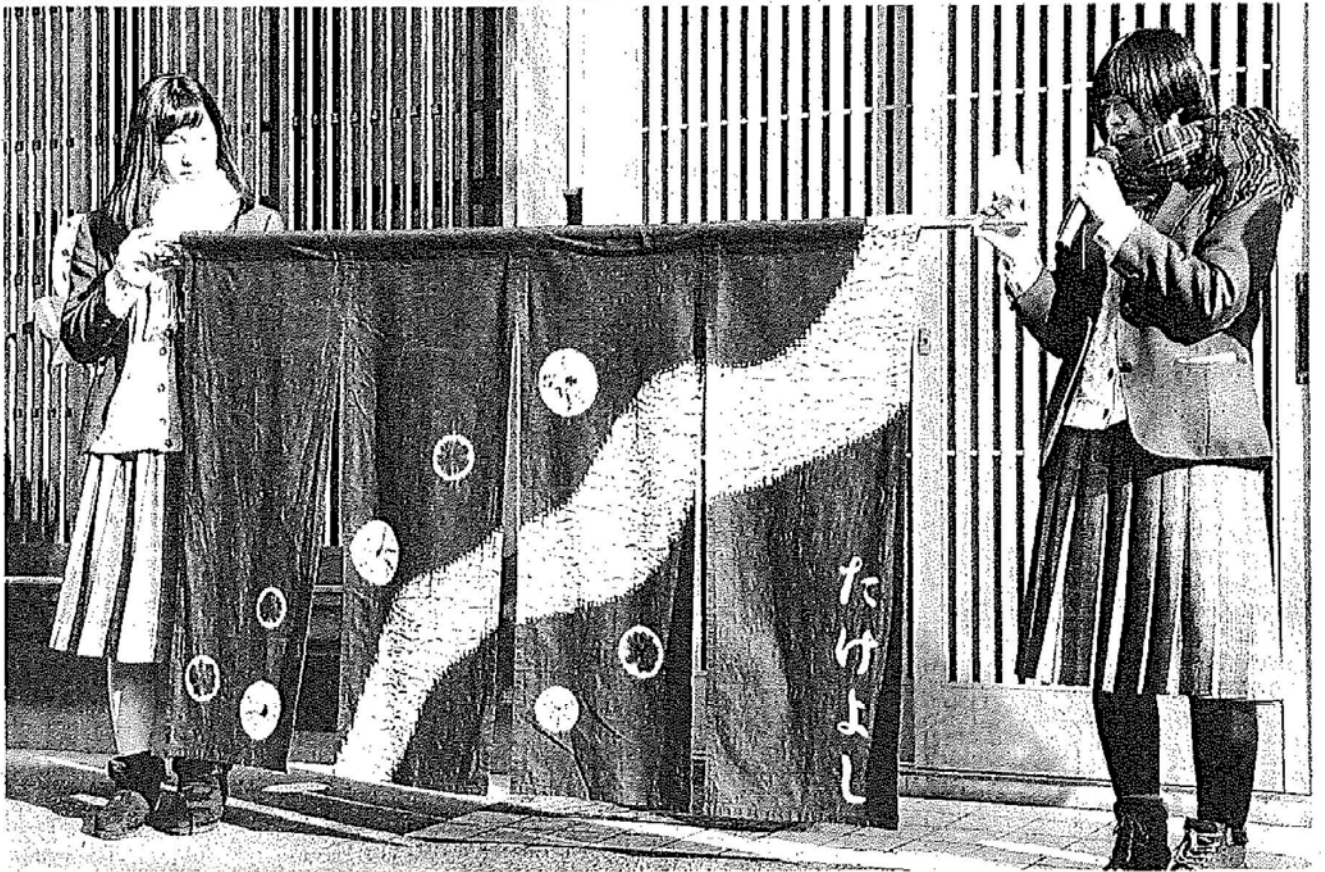


藍染めのれんをお披露目する生徒たち 智頭町智頭で



真相取る用

## 藍染めのれん 街角に

県立智頭農林高の生徒らが藍染めのれんや、町特産の杉を使った格子戸を制作した。町内で18日にお披露目され、地元の酒造会社や民家などに作品を贈った。

生活環境科の12人は、町内の企業組合「藍染工房ちずぶるー」などの協力を得て、千代川などをイメージしたのれん5枚を作った。3年の八瀬河美穂さん(18)は町内にある蔵元「諏訪酒造」からの要望で、銘柄「諏訪泉」の名を記した一枚(長さ

智頭農林高生  
地元へ作品寄贈

2枚、幅1.2m)を手掛け、「無事に完成して良かった」と笑顔を見せていた。諏訪酒造の職員、西尾弘子さん(50)は「想像以上の良い仕上がりで驚きです」と話し、さっそく店の前に飾っていた。

一方、森林科学科の2人は町内で建具店を営む藤縄薫さん(63)の手ほどきで、格子戸づくりに取り組んだ。2年の大上僚斗さん(17)は「自分たちの作品が智頭に残るので、うれしい」と喜んでいた。【阿部絢美】

の同

TEL:0866-224700

2018年1月19日(金) 毎日新聞

『藍染めのれん 街角に』